



あなたの未来に笑顔と元気を！

スマイル通信

Sato-Kazuko Smile report

2021年 秋号

〒982-0804 仙台市太白区鉤取 2丁目 1-3 TEL&FAX 022-245-7245
E-mail:sato@sendai-komei.jp URL http://www.sato-kazuko.net

一人の声を大切に！100万人の笑顔のために！

この度、第3回定例会・令和2年度決算等審査特別委員会、都市整備建設委員会での質疑や要望活動等のご報告として「さとう和子スマイル通信2021年秋号」を作成いたしました。ご一読いただければ幸いです。

仙台市において、希望する市民への新型コロナワクチン接種が円滑に進み2回目接種が8割を超え、12月からは3回目接種が開始されるところであります。現在、感染状況は落ち着いてきておりますが、今後懸念される感染に備えた対策や長引くコロナ禍での影響への対策、市政や地域の課題に全力で取り組んでまいります。

2021年12月吉日 仙台市議会議員 さとう和子

地域の安全対策を求めて

「鉤取4丁目北側交差点の信号機設置」 1,125名の署名簿を携え要望書提出！

9月3日、鉤取紙漣町内会・鉤取八幡町内会の皆様とともに宮城県警本部と仙台南警察署に要望書を提出しました。

地下鉄東西線開業に伴い平成27年11月に供用開始された都市計画道路郡山折立線(鉤取工区)は、小学校・中学校・高校の通学、地域住民、災害時の避難場所への動線など車・自転車・歩行者の通行が多い生活道路です。

8年前に住民より安全対策の声が寄せられ、平成25年8月に鉤取紙漣町内会として宮城県警本部と仙台市に鉤取4丁目北側・南側交差点の安全対策の要望を行ないました。

供用開始から6年目に入り、以前同様、交通量は多く、横断歩道はあるものの、未だに信号機は設置されておらず、昨年、死亡事故も発生したことから、安全対策を求める声が高まっておりました。多くの地域住民の声を届けるため署名活動を展開し2回目となる要望書提出に至りました。

当日は、日々、通行を目の当たりにしている住民の方々にも同席していただき直接、現状を訴えることができました。今後も横山のぼる県議会議員と連携し粘り強く取り組んでまいります。



◆10月1日から◆

不育症検査費用助成事業が開始されました！



妊娠はするものの流産・死産を繰り返す不育症。令和3年度新規事業として国の創設(国補助2/1)に合わせ予算化し、先進医療として告示されている不育症検査を対象に助成するものです。1回の検査につき5万円まで。

平成24年第1回定例会の予算等審査特別委員会の質疑から、「適切な検査治療を受ければ8割以上が出産にたどり着くということである。子どもを産みたいという女性へ、不妊症同様、支援をすべき」と何度も訴えてきました。引き続き、治療費の助成や相談体制の強化などに取り組んでまいります。

～ 第3回定例会 決算等審査特別委員会 ～

(令和3年9月28日 健康福祉費)

◆がん検診の取り組みについて

Q: 令和元年度から導入した胃がん検診の胃内視鏡検査(胃カメラ検査)の評価を伺う。

A: 胃内視鏡検査の今年度の申込者数が令和2年度を既に上回っている状況で、胃がん検診の受診方法に選択制を導入したことにより、市民の皆様にとって受診しやすくなるという効果が出ている。また、令和2年度の胃内視鏡検査による発見率が0.75%となっており、胃がんの早期発見に一定の効果があったと考える。



◆産前産後の母親の支援について

Q: 育児ヘルパー派遣事業における産後ドゥーラの活用の検討状況を伺う。

A: (子供未来局長)産後ドゥーラについては、産後の母親に寄り添い、家事や育児を丸ごとサポートしていただくだけでなく、子どもと家族全体を支援するという、それぞれのご家庭の事情に応じて、熱意をもって活動されていると受け止めている。育児ヘルパー派遣については、専門的な知識や経験を持った人材を拡充していくことが必要という観点で様々な検討しており、本市の産後ドゥーラへの委託も検討を始めたところである。

*産後ドゥーラとは：民間の認定資格で、産後間もない母親に寄り添って家事や育児など生活に必要な支援をする人のこと

◆その他の主な質問項目

- ・がん検診の受診率・受診勧奨数・未受診者数とコロナ禍の影響について
- ・令和2年度から開始したスマートフォンによる申込者数の推移と評価
- ・がん検診の受診率向上の取り組みとして、スマートフォン活用の受診勧奨(福岡市・千葉市)、複数のがん検診をセットにして受診したくないものを選択する「オプトアウト方式」の導入(福岡市)、東京都立川市の乳がん検診の「受診計画カード」送付の認識と本市のさらなる取り組みについて
- ・国からの通知(5月31日付)により、死産・流産を経験した女性も受診できる産婦健診について十分に配慮した周知広報
- ・オンラインによる産後ケアの申請手続きの早期実現
- ・産後うつ対策、「助産師サロン」の利用状況について
- ・育児ヘルパー派遣事業の利用状況、委託事業者の研修・スキルアップについて
- ・母子保健法の改正による産後ケア(出産後1年の延長・訪問型の実施)の考え方と事業の整理

◎第3回定例会(9月9日)では、子育て環境充実調査特別委員会の委員長報告を行ないました。



～ 都市整備建設委員会 ～

(令和3年9月24日)

◆「市営住宅長寿命化計画(第二期)」(令和2年度～令和11年度)について

Q: 第一期計画(平成22年度～10年)で建て替えた団地は鶴ヶ谷第一であり、今回の第二期計画では鶴ヶ谷第二のみである。今後10年、20年の耐用年限の対象となる団地名を伺う。

A: 今後20年以内に耐用年限(60年)の対象は小松島・小松島第二・太白・小鶴・西中田・郡山・上原・幸町の8団地である。

Q: 今後20年で耐用年限をむかえる団地の建て替えの検討にあたっては、耐用年限の判断だけでなく、団地の立地の実情によっても状況が異なるため、しっかり調査していただきたい。建て替えの対象とならない団地の老朽化の課題についても検討し、室内の修繕については入居者のアンケート調査等を実施し計画的に進めるべき。

A: (都市整備局長)修繕に関する入居者のご意見やご要望をお伺いするなど実態の把握に努めるとともに、良好な住環境を確保できるよう、計画的な修繕対応について、合わせて検討してまいります。

◆その他の主な質問項目

- ・市営住宅の来客駐車場の増設、エレベーター設置事業について
- ・風呂設備交換事業のこれまでの実績及び募集方法の見直しについて
- ・市負担と入居者の自己負担で行なう室内修繕の対象やカビ問題の認識について



皆さまの声をカタチにしました！

■市営住宅の風呂設備交換事業が希望する入居者に整備！ 募集数の拡充と申し込み要件が緩和されました！

市営住宅の風呂設備設置について、議会で取り上げるきっかけになったのは、「入居時に持参した風呂釜が故障し、再度購入しなければならず負担が大きい。お風呂整備を進めてほしい」という、ひとり親家庭の母親の声でした。また、高齢者や障がい者の方々からは「浴槽は高さがあり、だんだん入浴ができなくなってきた。安心して入浴したい」という切実な声が多く寄せられました。

その声を通し、平成25年第3回定例会の一般質問で、「長寿命化計画」の風呂設備設置はバリアフリー化の取り組みであり拡充すべきと訴えてきました。

平成27年度からモデル事業として風呂設備交換事業(家賃加算)が始まりましたが、当初は募集数が少なく応募率が11倍以上でした。希望する入居者全員に整備することを求め、募集数の拡充、要件の緩和、多数回落選者・障がい者枠を設けることなど改善を何度も議会で求めてきました。

その後、仙台市は年々募集数を増やし、昨年度・今年度は400戸と大きく拡充した結果、今年度は申し込んだ入居者全員に整備されることになりました。また、昨年度から過年度落選者世帯や身体障害者世帯の優遇措置を設けての募集、今年度からは、申し込み要件だった「風呂設備が15年以上経過していること」がなくなり応募しやすくなりました。これからも、入居者が安心して生活ができるよう市営住宅の環境整備に取り組んでまいります。





網膜色素変性症患者のために開発された「暗所視支援眼鏡」のレンタルが開始されました！

2年前、宮城県網膜色素変性症協会会長から「暗所視支援眼鏡の価格は約40万円と高額で購入できない。ぜひ、日常生活用具の対象にしてほしい」との声をいただきました。令和2年第1回定例会の一般質問で「視覚障がい者の外出支援、就学・就労支援、災害における避難、社会的自立に繋がり、何より人生に希望の光を与えるものではないか」と強く訴えました。10月30日には患者会の皆様様が直接、郡市長へ要望書を提出することができました。念願の要望が実り、10月1日から現行の「障害児者日常生活用具費支給制度」に「貸与費支給」を新たに設けることになりました。(使用料は課税世帯は月1,100円、非課税世帯は無料)



* 網膜色素変性症とは：網膜に異常が起こり、暗いところで物が見えにくい夜盲や色覚異常、視野が狭くなったり視力が低下する遺伝性の難病
(もうまくしきそへんせいしょう)

* 暗所視支援眼鏡とは：高感度カメラの画像を目の前のディスプレイに投影し、暗いところでも明るく見えるようにするもの
(あんしょしえんめがね)



視察・活動

■新型コロナウイルス肺炎の感染防止等に関する第11次緊急要望書提出！

8月31日、公明党仙台市議団は郡市長に、「緊急事態宣言下における市民の安全安心確保」について、1、医療提供体制等の確保 2、希望する方々へのワクチン接種のさらなる推進と感染防止対策 3、市内事業者に対する経済的支援を要望しました。

■令和4年度仙台市予算及び制度改正に係る要望書提出！

10月14日、公明党仙台市議団は郡市長に、最重点要望①ポストコロナ、ウィズコロナの基盤構築②復興の推進③防災・減災対策の推進④いじめ・不登校・虐待防止対策の推進を柱に157項目、重点要望361項目と合わせて、計518項目にわたり要望しました。



■仙台市成人式に関する緊急申し入れ！

9月27日、公明党仙台市議団は郡市長に、令和4年の成人式は2部形式開催と発表となり参加対象の区を限定したことについて、どちらでも参加できるように市民に喜ばれる式の開催に向け緊急申し入れを行ないました。

■仙台市・川崎町広域行政連絡協議会の現地視察

国道286号線バイパス(南赤石工区・支倉道路改良)整備事業(令和11年度完成予定)の進捗状況を視察
(10月25日)

■AI(人工知能)で安全運転を最適化 東北大学加齢学研究所・川島隆太教授 と仙台放送が開発した「運転技能向上 トレーニング・アプリA1版」拝聴

(10月4日)

■第1回人生100年時代調査特別委員会出席

少子高齢化社会の到来に際し、市民が人生100年時代を見据えた多様な人生設計のもと、社会的に孤立することなく健康で充実した生活を送ることができる都市の実現を目的とし委員会がスタート。第1回はテーマ・調査項目について委員相互の意見交換を行ないました。今後1年間、有識者からの意見聴取など調査を重ね取り組んでまいります。
(10月29日)

秋保地区の地域交通「ぐるりんあきう」の2回目の試験運行出発式！

10月1日、秋保大滝駐車場で行なわれました。地元住民組織「秋保地区の交通を考える会」では1回目の試験運行(1月18日～3月末)の検証を重ね、秋保全域の運行拡大や当日予約など利便性の充実、改善され2回目へ。そのご努力と地域の活性化に向けた情熱に感謝の思いです。

秋の紅葉シーズンに入り、多くの観光客が利用していますが、地元住民の利用促進が課題です。11月19日の都市整備建設委員会では、地域交通の課題である路線バス・民間事業者との競合、地域の担い手など市の主導的サポートを求めました。これからも持続可能な地域交通実現に向けて取り組んでまいります。



フェイスブックを開設

